

学んで 話して 楽しい にほんご教室

夢気球だより

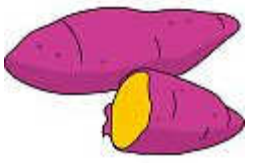
「夢気球だより」編集部 発行

〒610-0121

城陽市寺田西ノ口7-4西邦ビル2階 城陽市国際交流協会内

電話 0774-57-0713

編集者 <西山雅文>



六周年学習者支援者交流会

四十三名が集まった交流会は 「雨二毛負ケズ、台風二毛負ケズ」

以前 台風の警報で 交流会を延期したことと何度も心の中で叫んでしまった。雨が止む報に気をもみながら六周年交流会となった。自転車で来る学習者 者がいることを知ってからは、ますます心穏やかではなかった。いくら若者とはいえない雨の中は辛いもの、雨

夢気球は何才なのかと数えたり一周年記念の交流会に思いを馳せたりする。夢気球が設立されたのが二〇一一年九月十日の総会だったから、私達の活動は満六年を過ぎた。長きに亘って協力して下さった会員の皆さんの心意気や熱心さには頭が下がる。



創立6周年記念
夢気球
支援者 学習者 交流会

「夢気球だより」の発行が、去年の秋からになりました。私は〇〇と申します。□□から来ました。私はエンジニアで、仕事は塗装をすることです。ぱれっとJYOYで日本語を勉強しています。△△先生はとても丁寧な日本語を教えてくださいました。だから勉強はとても楽しいです。(先生を褒めることも忘れない!) いっぱい勉強して国に帰ったら会社を作ります。」このような話がいくつも聞かれ、自分の将来像をしっかりと描いているなど感心させられた。私が彼らと同年代の頃、果たしてこんな自己紹介が一巡した



代してもう一曲「雪の華」を熱唱。ぱれっとネシアのメンバーの実力は決してプロ並みと言わないが、全員が身体中のエネルギーを使いつつ演奏を楽しんでいるのがしっかりと伝わってきた。メンバーによると、機会があればどこでも行つて演奏したいそうだ。

参加者のうち女性の学習者に恒例の浴衣体験をしてもらった。いつも希望者が多く、浴衣を着ても短時間で次の人と交代するといった慌ただしい着付け体験になっていた。今年抽選で七名を選んだが、女性学習者の参加が少なくて予定していた抽選は中止。浴衣は七着用意したので着た人はたつた二人。予測は大きく外れてしまった。女性の参加者が少なかつたのは台風の影響かも知れない。

お皿に食べ物をとり食べ始めたころに楽器演奏の準備が整い、ぱれっとネシアの歌と演奏が始まった。「ぱれっとネシア」というのは、男女共同参加支援センター「ぱれっとJYOY」で日本語を学習しているインドネシア出身の学習者が数年前に作ったアマチュアバンドの名称だ。

今回のメンバーは四人で、楽器はギター、ウクレレ、三線(西宮からナオコさんが客演)、ヴォーカルは味のある声で「涙そうそ」、「島んちゆうぬ宝」を聞かせてくれた。演奏が終わると会場に大きな拍手が響いた。やがてアンコールの声に変わり、ヴォーカルが交

のボスター展示に使うので、「自分の写真が張り出されると困る人は写らないようにお願いします。」などといった呼びかけがあった。たぶん撮影を拒否した人は今年もいなかった。写真撮影が終わると

第8回学習発表会は こんな風でしたよ

10月2日、月曜日に勉強している学習者を対象にして開かれました。五つのクラスが勉強中ですが、皆さんのご都合もあって2組の発表となりました。生憎の雨模様でしたが参加者は17名を数え、学習者のお母さん、学習者、支援者等で家族の雰囲気の中で行われました。

10月2日、月曜日に勉強している学習者を対象にして開かれました。五つのクラスが勉強中ですが、皆さんのご都合もあって2組の発表となりました。生憎の雨模様でしたが参加者は17名を数え、学習者のお母さん、学習者、支援者等で家族の雰囲気の中で行われました。

すが、わかりやすい日本語での説明でした。②日本でも知られている「マトリョシカ」や「バラライカ(三絃)」の話から始まり、マトリョシカは「ロシアの郷土玩具。胴体が上下に分割でき、中に同じような分割できる人形が複数はいる。最後に日本語になって、ロシア語の話も面白かったです。③ロシア語が日本語

お皿に食べ物をとり食べ始めたころに楽器演奏の準備が整い、ぱれっとネシアの歌と演奏が始まった。「ぱれっとネシア」というのは、男女共同参加支援センター「ぱれっとJYOY」で日本語を学習しているインドネシア出身の学習者が数年前に作ったアマチュアバンドの名称だ。

第一組はロシアから来られているポチュエワさんの発表です。支援者の高橋さんから勉強の様子やこの発表会に向けての準備状況等の説明の後、スピーチがスタートしました。「ロシアの国自体を皆さんに理解して欲しい」との思いに溢れた内容として知られており、ロシア号はモスクワからウラジオストク間を約7日間かけて走破。日本の距離(長さ)は写本から宗谷岬まで約三千五百kmと言われているので、ロシア縦断鉄道の長さがよくわかります。(欧州へ旅行された方は机上からも広さが実感でき

えども、まだまだ話が残らず、「早く帰って!」と再三督促する程の盛り上がりであった。今年一度の交流会で皆さん大変ご苦労様でした。(代表 杉島凱志)

援者の渋谷さんからも紹介がありました。「前回に続いて2回目の発表ですが、勉強の成果を皆さんに見て戴くのはスピーチが一番」との考えで実行されたものです。紙面に落としましたのが、自己紹介等は「ペーパー」を全く見ないで発表された。内容については、第7回発表会と同じような話ですが、割愛しますが、聴いておられた皆さんは自分自身や家族のことを語られる方も少なくありません。発表者の中にも「若いと語学の習得は意外に早い」と感嘆の声が聞かれました。お母さんは皆さんと両手を合わせて「マスター」挨拶もされました。後ほど聞いた所では、とても喜んでおられたそうです。彼のスピーチ等が日本、尼波羅(ネパール)親善の一助となったのでしょうか? 「マスター」は、とても便利な言葉で、多民族/多言語国家のネパールでも「おはようございます」のように「こんにちは」は、よく使われます。他に「マスター」でいいのです。学習発表会はお陰様で好評ですので、継続して行く計画です。第9回学習発表会「は、ぱれっとJYOY」で1月28日(日)に開催を予定していますので、お誘い合わせの上お越しください。(広報 村上可芳)